



2025年3月期 連結決算説明資料

2025年5月8日

東京証券取引所プライム市場
証券コード:6737

EIZO株式会社

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2025年3月期は“24F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、ディフェンス、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 有生(ありせ) TEL：076-275-4121

1. 2025年3月期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

2025年3月期 決算概要

売上高は前期並み 販売費及び一般管理費の増加により営業減益

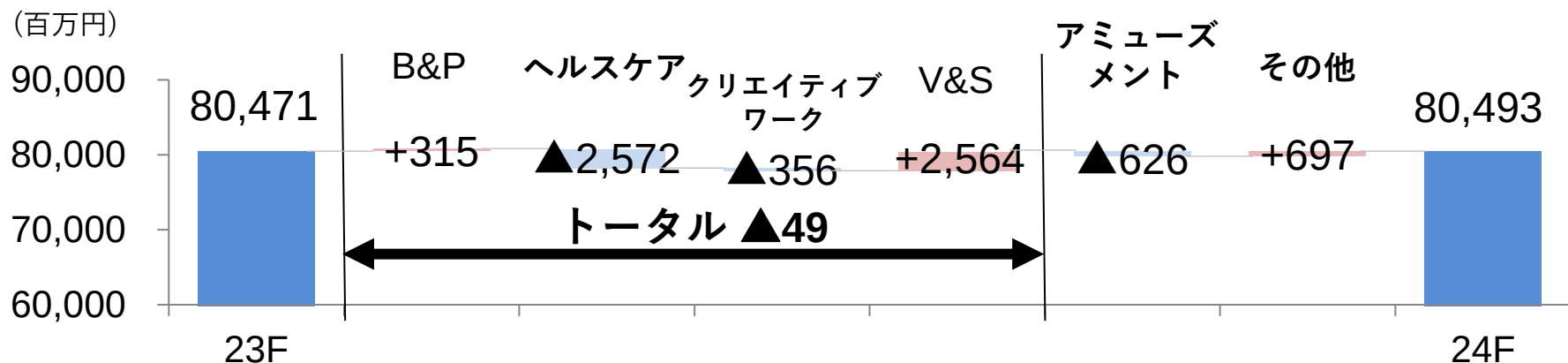
- 売上高：804.9億円(前期と同等)
 - 欧州経済の停滞により、B&Pの販売は低調
設備導入先送りや在庫調整によりヘルスケアの販売が減少
 - 航空管制用途向けの需要回復及びディフェンス用途向け好調により、V&Sの販売が増加
 - アミューズメントは人気機種の販売があった前期を下回る
- 営業利益：37.0億円(前期比 ▲2.0億円)
 - 売上総利益増加：V&S市場向けなど高付加価値製品の販売が増加したことやユーロ高の影響
 - 販売費及び一般管理費増加：賃上げの実施、研究開発活動の強化による
- 親会社株主に帰属する当期純利益：41.4億円(前期比 ▲13.0億円)
 - 営業外費用：為替差損 4.4億円を計上(前期は為替差益 9.8億円を計上)
 - 特別利益：投資有価証券売却益11.0億円を計上
(前期は同 23.4億円、能登半島地震による災害損失 ▲6.0億円を計上)

連結損益計算書

(百万円)

	23F	24F	前期比
売上高	80,471	80,493	100.0%
売上総利益	25,421	26,199	103.1%
売上総利益率	31.6%	32.5%	+1.0pt
販売費及び一般管理費	21,512	22,493	104.6%
営業利益	3,908	3,706	94.8%
営業利益率	4.9%	4.6%	▲0.3pt
経常利益	6,326	4,555	72.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,454	4,148	76.1%
為替レート（年平均）:USD	144.59円	152.62円	+8.03円
為替レート（年平均）:EUR	156.75円	163.88円	+7.13円

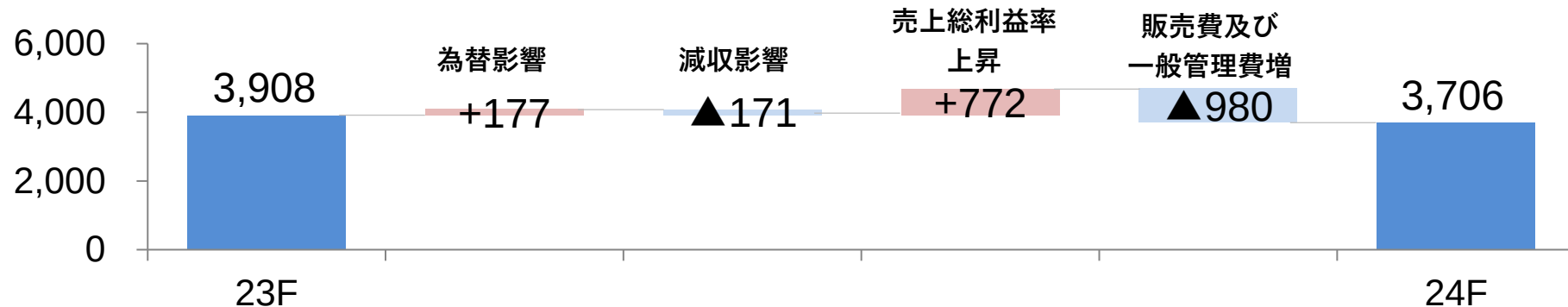
売上高増減要因



- **B&P** : 欧州経済停滞によるIT投資の先送りの影響により依然として低調
- **ヘルスケア** : 設備導入の先送りや在庫調整が継続し販売減少
- **クリエイティブワーク** : 米ハリウッドのストライキ終結後に一部に投資回復の兆しがあるものの、低調
- **V&S** : 航空管制用途向けやディフェンス用途向けの販売が伸張し、前期を上回る
- **アミューズメント** : 前期に主力機種の販売があり、前期を下回る
- **その他** : アミューズメント用ソフトウェア受託開発等の売上高が増加

営業利益増減要因

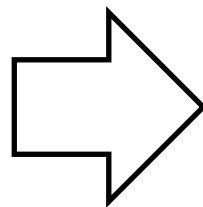
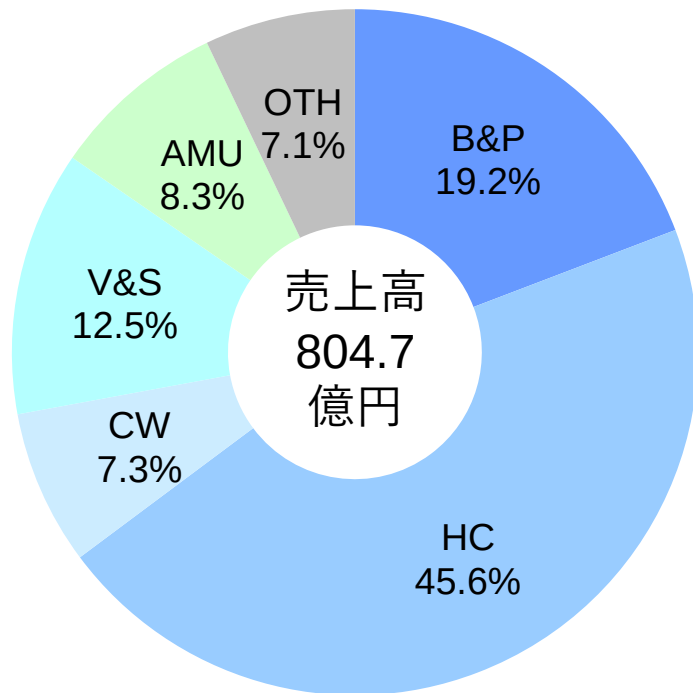
(百万円)



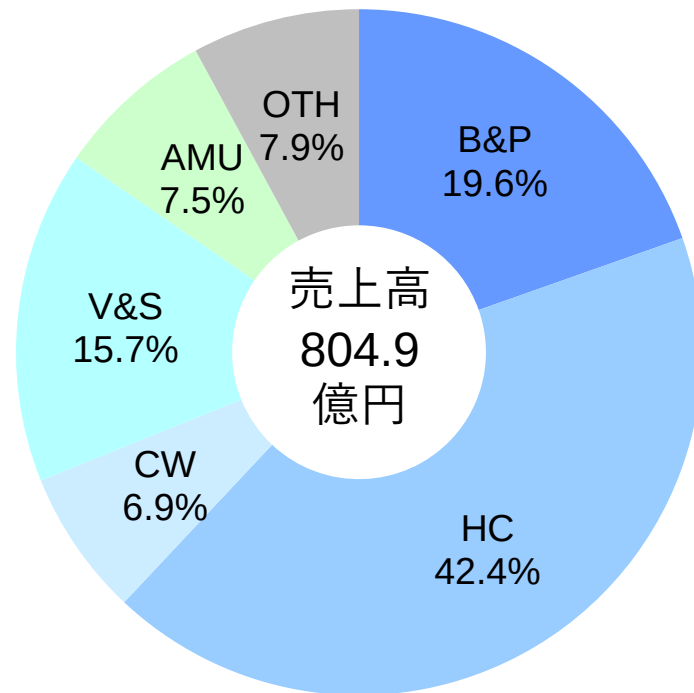
- 為替影響：円安ユーロ高で推移したことによる
- 売上総利益率の上昇：V&S市場向けなど高付加価値製品の売上高構成比の上昇による
- 販売費及び一般管理費の増加：賃上げの実施、研究開発活動の強化により増加

市場別売上高構成比

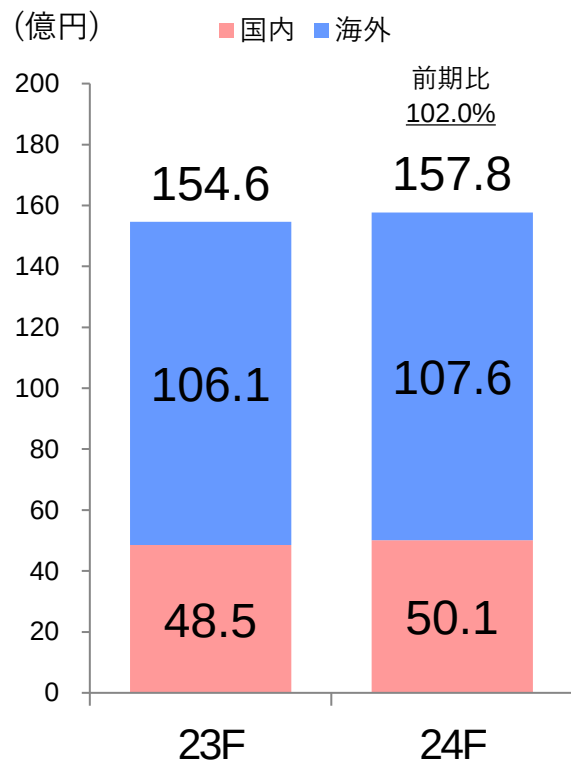
23F



24F



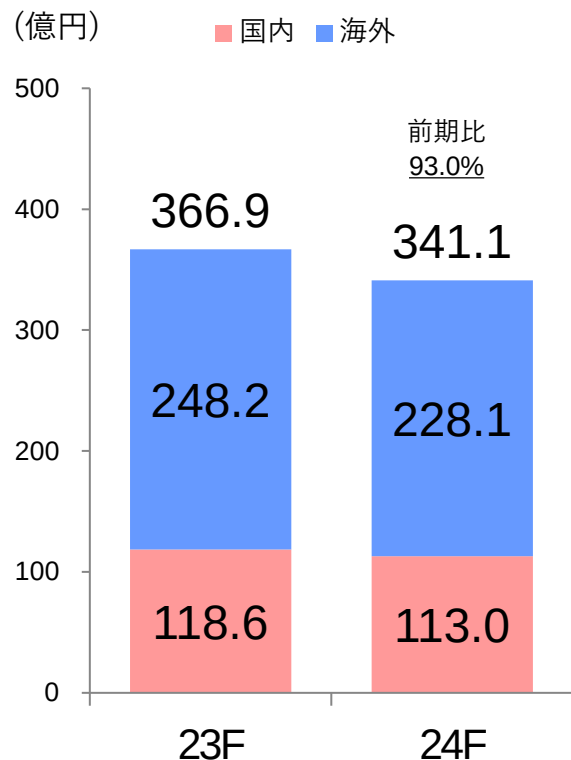
市場別売上高：B&P (Business & Plus)



- 主要市場である欧州においてIT投資の先送りやPC販売減少の影響が継続
- 大型モニターの販売が伸び、売上高は前期を上回る



市場別売上高：ヘルスケア



診断用途

□ 欧州、北米で導入の先送りがあり、販売は減少

手術室用途

□ 日本で堅調な販売

内視鏡用途

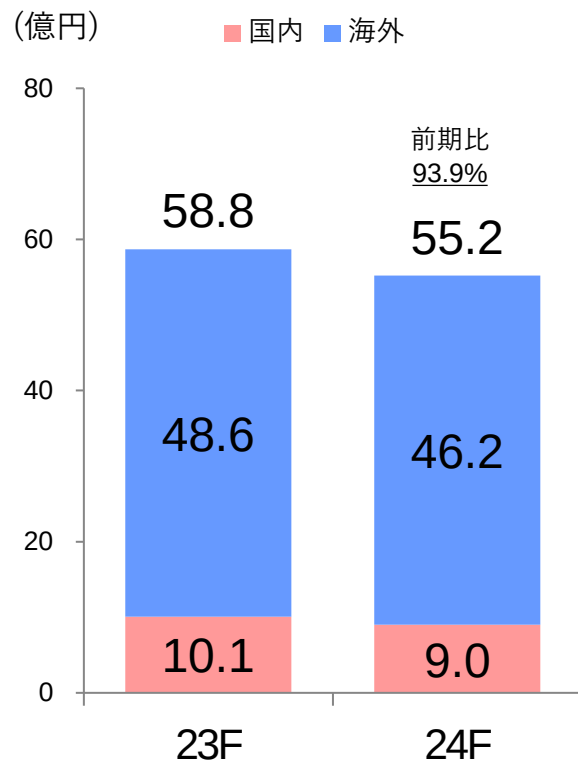
□ 欧州、北米、日本で市場における在庫調整の影響により、販売減少

□ 中国での景気弱含みの影響を受け販売減少



RadiForce® RX570

市場別売上高：クリエイティブワーク

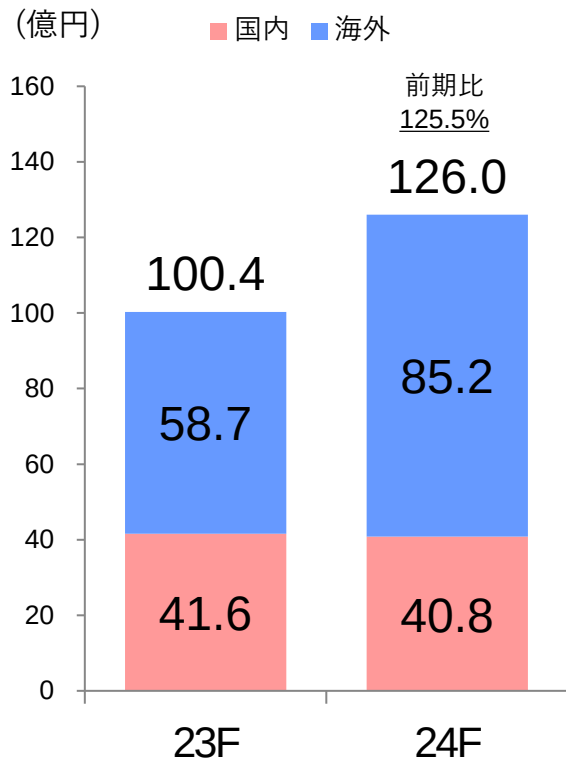


□ 米ハリウッドのストライキ終結後、全世界の映像制作市場において一部投資回復の兆しが見られるものの販売は低調に推移



ColorEdge® CG2400S

市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)



航空管制

- コロナ禍の影響で後ろ倒しとなっていた需要が回復し販売が伸張

船舶

- 新規造船需要があり好調

セキュリティ・監視

- 欧州を中心に販売堅調

ディフェンス

- 北米でグラフィックスボードや当社の強みを活かしたモニターのクロスセル販売が増加

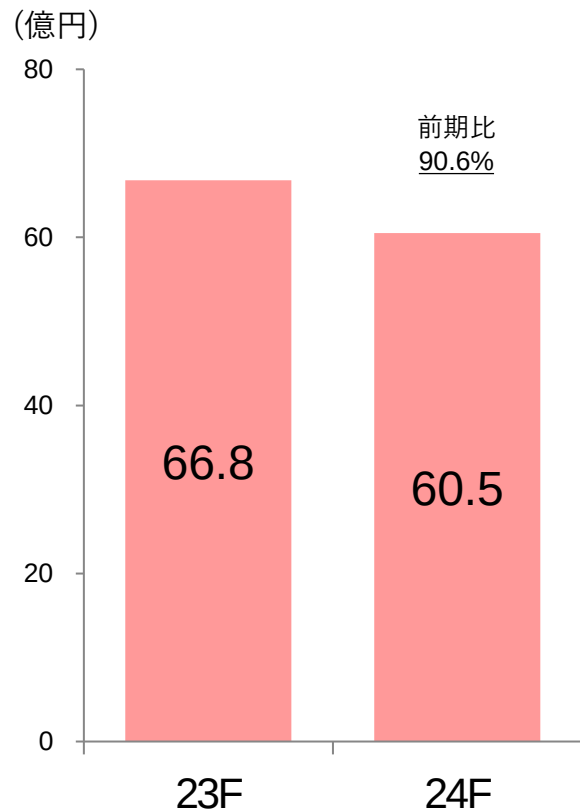
その他

- 欧州、日本でその他産業用途向けの販売が増加



DuraVision FDS1783T

市場別売上高：アミューズメント



- 前期に主力機種の販売があったことから、前期を下回る
- 遊技人口の減少と店舗数の減少等による業界全体の規模縮小が進み、厳しい市場環境が継続



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

連結貸借対照表

(百万円)

	24年3月末	25年3月末	増減
流動資産	82,425	80,709	▲1,716
現預金	16,418	21,058	+4,640
売掛金等 ※	21,223	21,273	+50
棚卸資産	43,535	36,664	▲6,870
有形固定資産	22,685	24,382	+1,697
無形固定資産	895	1,024	+128
投資その他の資産	58,813	51,643	▲7,170
資産合計	164,819	157,759	▲7,060
流動負債	19,006	18,743	▲263
短期借入金	4,897	4,862	▲34
固定負債	16,388	14,659	▲1,728
純資産	129,424	124,355	▲5,068
負債純資産合計	164,819	157,759	▲7,060

※受取手形、売掛金、契約資産及び電子記録債権

棚卸資産

原材料在庫の適正化

建設仮勘定

建設中の新技術棟
(2025年4月竣工)

投資その他の資産

一部投資有価証券の売却や
保有株式の時価減少により、減少

純資産

剰余金の配当及びその他有価証券
評価差額金の減少により、減少

研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

	23F	24F	前期比
研究開発費 ※製造費用計上分を含む	63.1	67.1	106.4%
売上高研究開発費率	7.8%	8.3%	+0.5pt.
	23F	24F	前期比
設備投資	23.9	44.7	187.1%
減価償却費	26.7	29.3	109.9%

研究開発費

- 注力分野における研究開発を着実に実行

設備投資

事業成長に向けた投資を継続

- EIZO Display Technologies(中国)
新社屋 約4億円
中国市場向け生産能力倍増
- 本社新技術棟(石川県白山市)
建設仮勘定 約20億円
※2025年4月竣工
(総投資金額 約52億円)

1. 2025年3月期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

2026年3月期 業績の見通し

(百万円)

	24F	25F計画	前期比
売上高	80,493	85,000	105.6%
売上総利益	26,199	28,400	108.4%
売上総利益率	32.5%	33.4%	+0.9pt
販売費及び一般管理費	22,493	23,600	104.9%
営業利益	3,706	4,800	129.5%
営業利益率	4.6%	5.6%	+1.0pt
経常利益	4,555	6,100	133.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,148	4,400	106.1%
為替レート（年平均）:USD	152.62円	143.00円	▲9.62円
為替レート（年平均）:EUR	163.88円	157.00円	▲6.88円
ROA	2.8%	-	-
ROE	3.3%	-	-

2025年5月8日公表

- 欧州経済の停滞、中国景気の弱含み継続。
米国の関税政策が米国及び中国において、当社業績に一定程度の影響を与えると想定
- 米国及び中国では関税政策による影響を一定程度受けることを想定し販売減の見込み。
日本、欧州は前期より販売増を計画。
成長市場であるインド/中東で販売伸張を計画
- 各市場向けに新機種投入。
ヘルスケア市場向けはEVSとして展開するソリューションビジネスを拡大。
V&S市場向けは堅調な需要のもと販売拡大
- 人材投資の拡大、インド、中東での事業拡大などの成長投資を実行

連結営業利益への為替感応度(1円円安による影響額)

- USD：▲90百万円
- EUR：+130百万円

市場別売上高予想

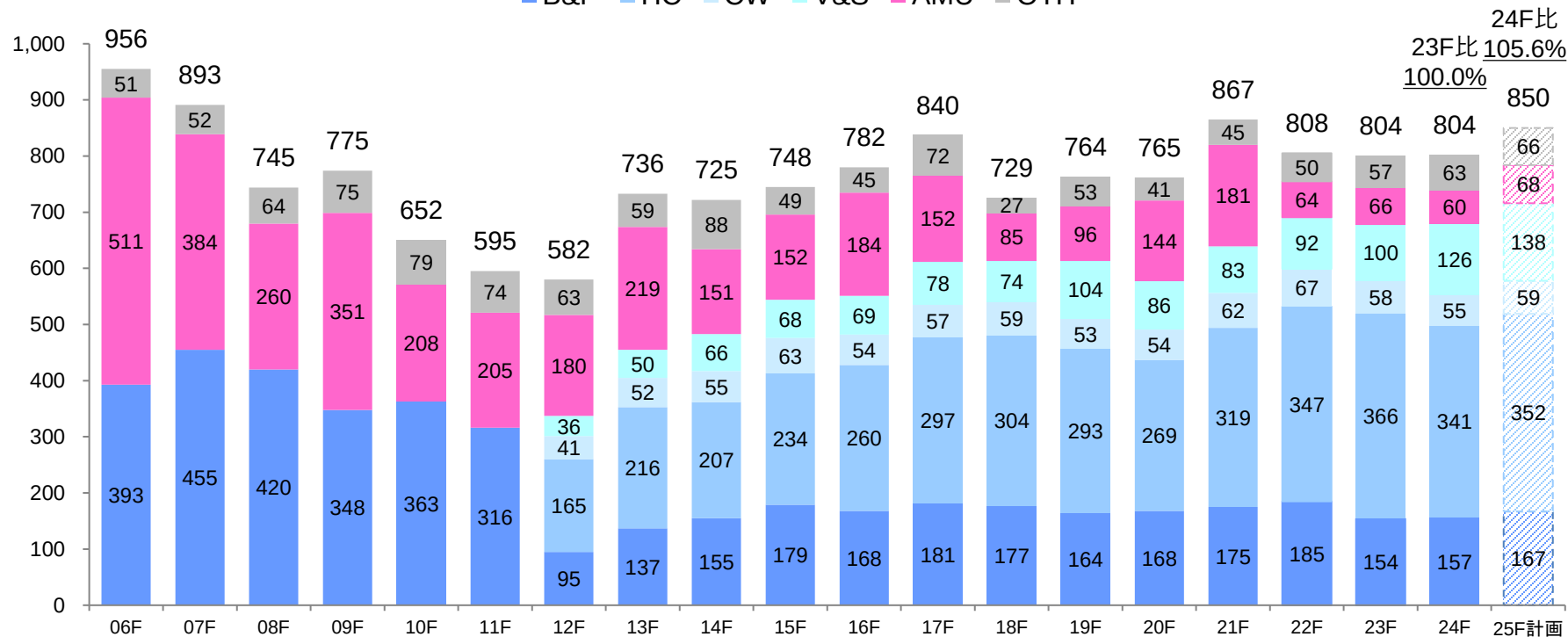
(百万円)

	24F	構成比(%)	25F計画	構成比(%)	前期比(%)
B&P (Business & Plus)	15,785	19.6	16,700	19.6	105.8
ヘルスケア	34,117	42.4	35,200	41.4	103.2
クリエイティブワーク	5,523	6.9	5,900	6.9	106.8
V&S (Vertical & Specific)	12,608	15.7	13,800	16.2	109.4
アミューズメント	6,058	7.5	6,800	8.0	112.2
その他	6,399	7.9	6,600	7.9	103.1
合計	80,493	100.0	85,000	100.0	105.6

市場別売上高推移

(億円)

■ B&P ■ HC ■ CW ■ V&S ■ AMU ■ OTH

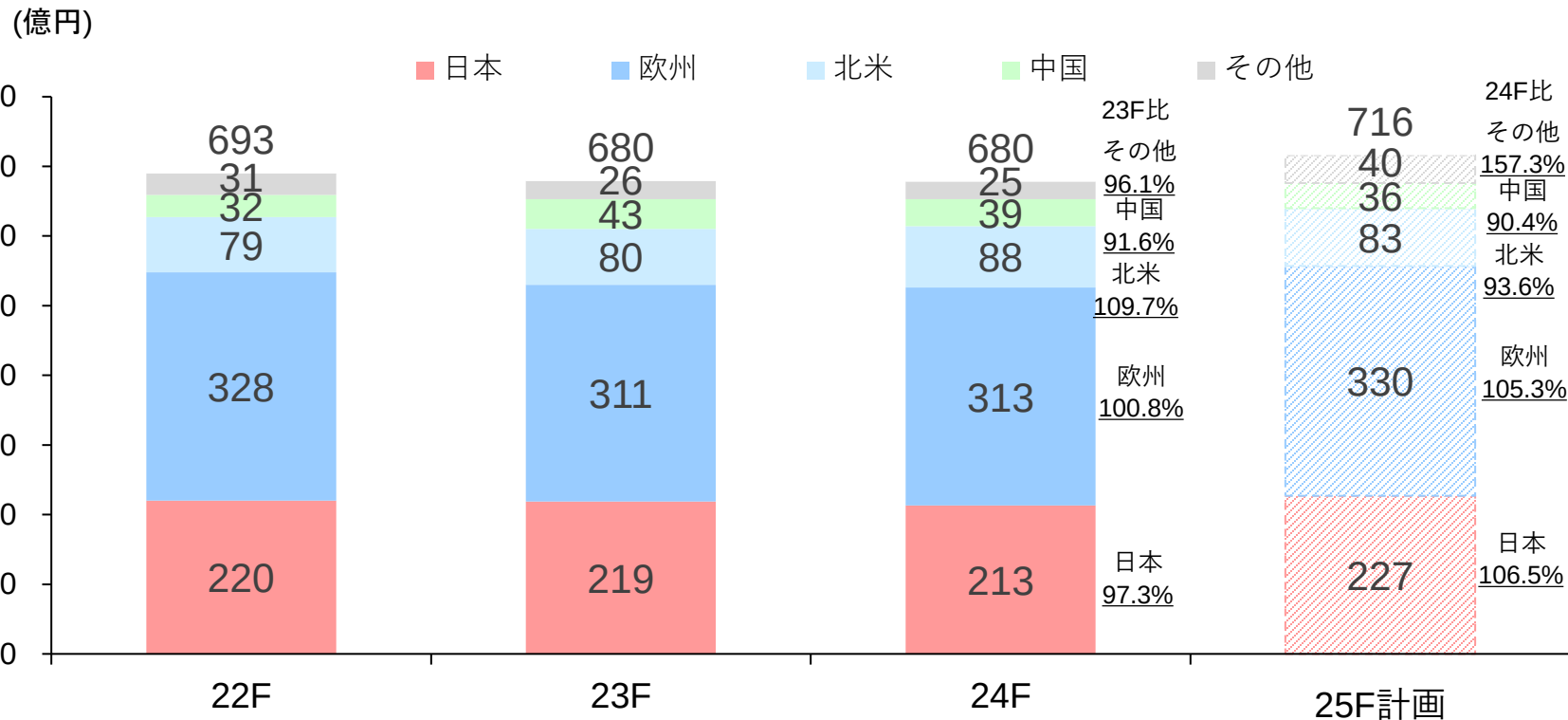


24F比
23F比 105.6%
100.0%

映像表示システム: B&P、HC、CW及びV&Sを総称して表示(06F-11F)

B&P/ヘルスケア/クリエイティブワーク/V&S

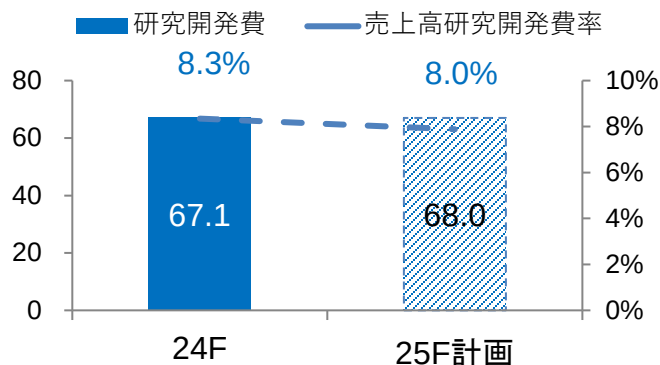
地域別売上高推移



研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

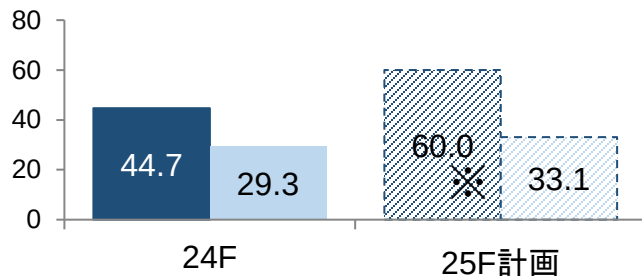
研究開発費 ※製造費用計上分を含む



- 研究開発費は、B&P市場やヘルスケア市場向けを中心とした製品ラインナップの強化や、EVS(EIZO Visual Systems)等、競争力ある製品開発への投資を強化

設備投資 / 減価償却費

■ 設備投資(金型含む) ■ 減価償却費(金型含む)



- 設備投資は、事業成長のための投資を実行

※本社新技術棟建設(2025年4月竣工) 約32億円を含む

トピック①

本社敷地内に新技術棟竣工 将来成長を見据えて十分な延床面積を確保

EVS展開を加速 顧客連携強化の拠点に

- パッケージ化によるシステム構築の短納期化及び開発コスト削減へ
- 製品企画やサービス部門を集約し、市場・顧客への提案力・対応力を強化

サステナビリティの推進

- 最先端の環境規格であるZEB Ready(*)規格に対応
- 屋上には太陽光発電設備を設置

(*) ZEBはNet Zero Energy Buildingの略。ZEB ReadyはZEB規格の1つで、対応する建築物は標準的な建築物に比べ50%以上のエネルギー消費量を削減

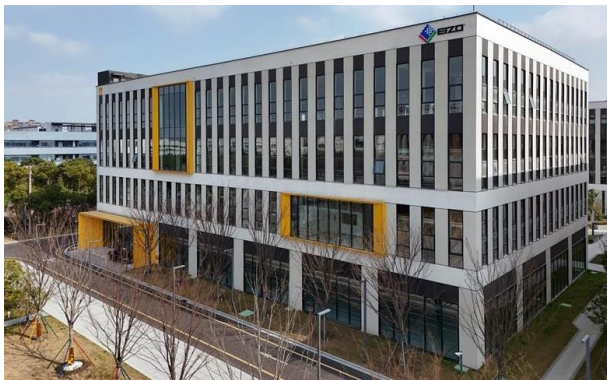


トピック②

中国グループ会社が新社屋にて事業を開始 生産能力を倍増し中国市場における販売拡大に対応

中国市場向けモニターの開発・製造・販売を行うグループ会社
「艺卓显像技术(苏州)有限公司(EIZO Display Technologies (Suzhou) Co.,Ltd.)」

- 高齢化進行や医療機器の品質基準強化により需要増の見込まれるヘルスケアは一層の成長へ
- 多くの空港建設が予定される航空管制用途向けのビジネス拡大



トピック③

B&P市場向けに環境性能を高めた2機種を投入

新機種「EV2720S」、「EV2410R」は
環境評価システムEPEATにおいて最高評価ランクの Goldを取得し、
気候変動への取組みを評価するEPEAT Climate+にも認定

■ EV2720S

- 標準消費電力14W(従来機種比22%削減)
- コントラスト比を1000:1から1500:1へ向上

■ EV2410R

- 標準消費電力8W(従来機種比27%削減)
- USBハブを2ポートから4ポートへ増設



FlexScan EV2720S



FlexScan EV2410R

株主還元

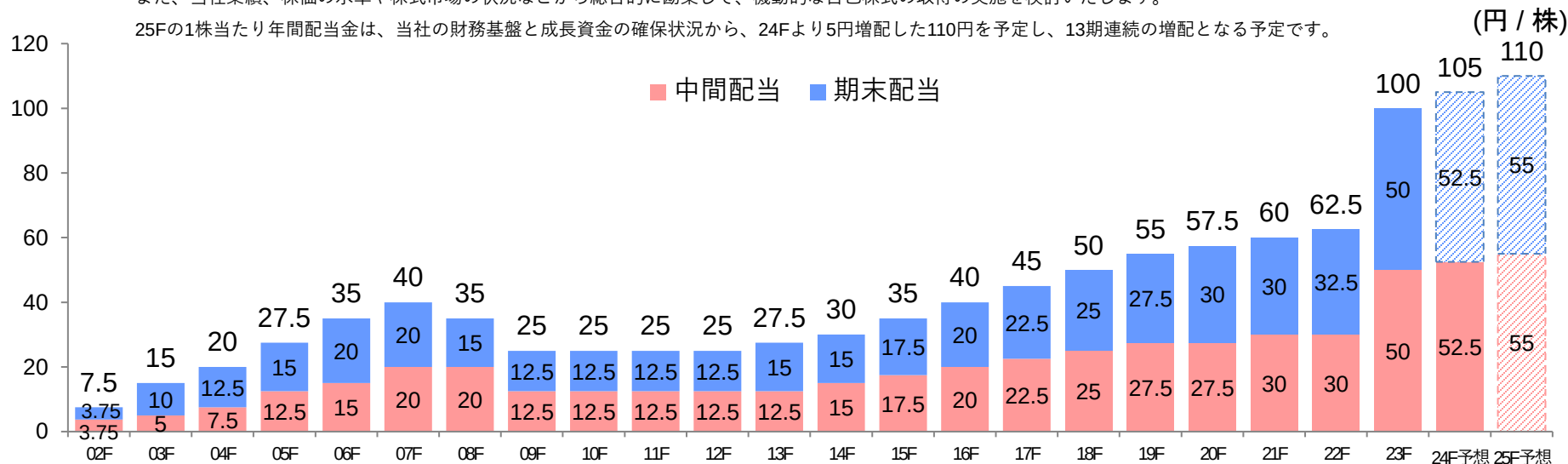
●株主還元方針

当社は、予測困難な世界情勢と不確実な事業環境の中、中長期的な成長を支える研究開発は積極的に継続し事業拡大と業績向上を通じて持続的成長を図るとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元を行うことを経営の重要課題と位置付けております。

株主への還元率（総還元性向）の目標水準を連結当期純利益の70%+αとしております。長期的な株主価値の向上に資するため、当社の財務基盤と成長資金の確保状況を鑑み、1株当たり年間配当金は105円（24F）を下限といたします。

また、当社業績、株価の水準や株式市場の状況などから総合的に勘案して、機動的な自己株式の取得の実施を検討いたします。

25Fの1株当たり年間配当金は、当社の財務基盤と成長資金の確保状況から、24Fより5円増配した110円を予定し、13期連続の増配となる予定です。



配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	44.5%	75.4%	104.2%	102.9%
還元率	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	22.6%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	92.2%	75.4%	104.2%	102.9%

※22Fの還元率(総還元性向)には自己株式取得金額 28億円を含みます

1. 2025年3月期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

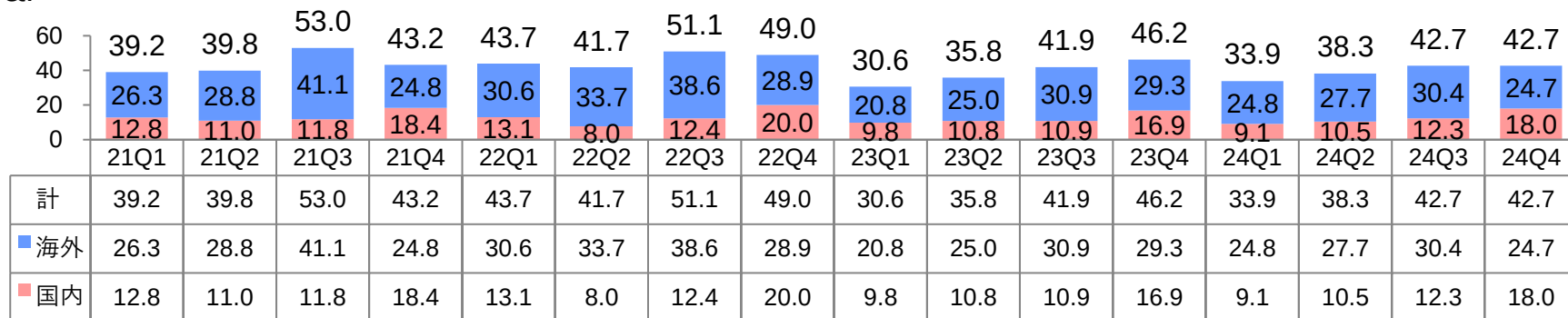
3. 参考資料

市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)

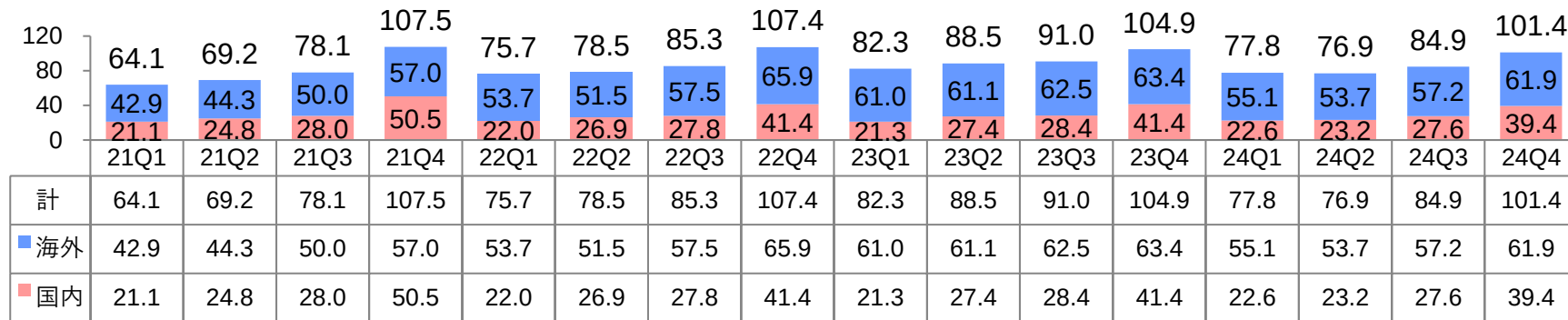
B&P

■ 国内 ■ 海外



ヘルスケア

■ 国内 ■ 海外

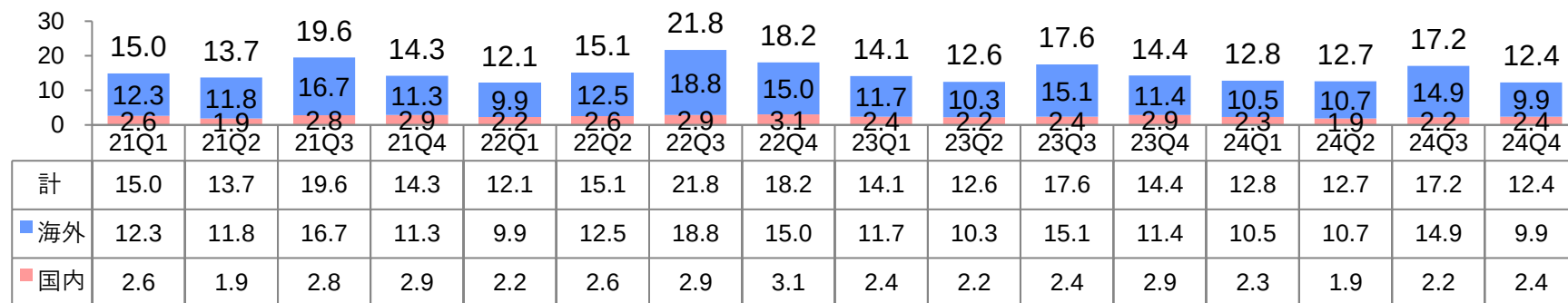


市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

(億円)

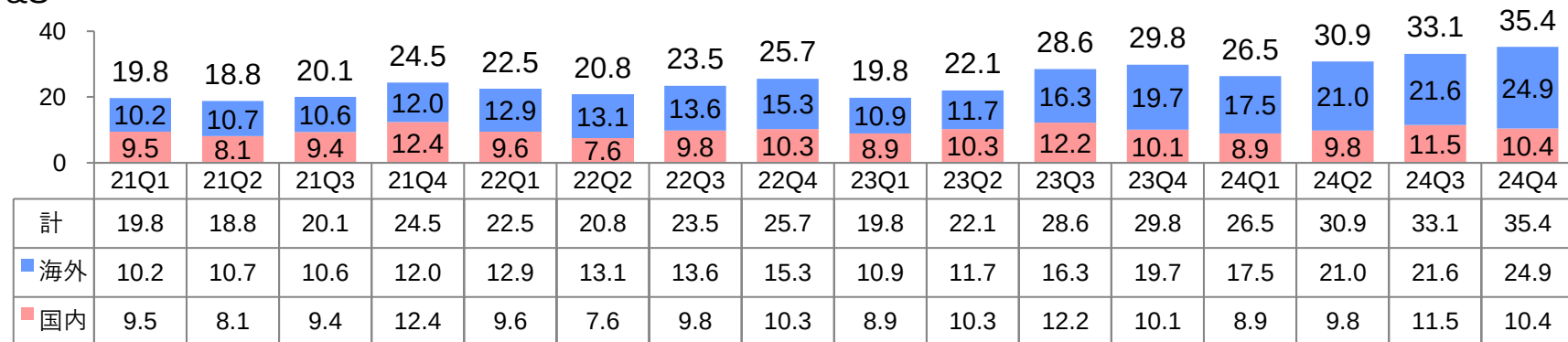
クリエイティブワーク

■ 国内 ■ 海外



V&S

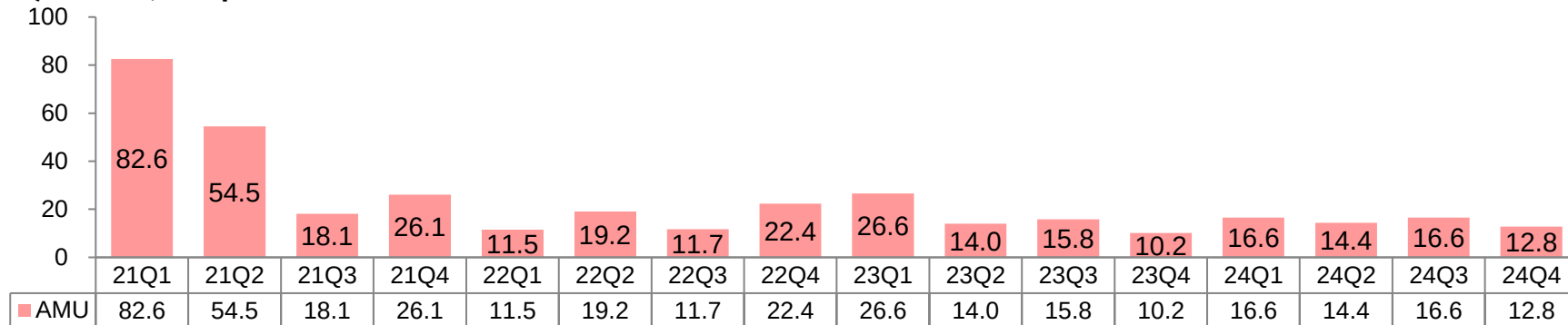
■ 国内 ■ 海外



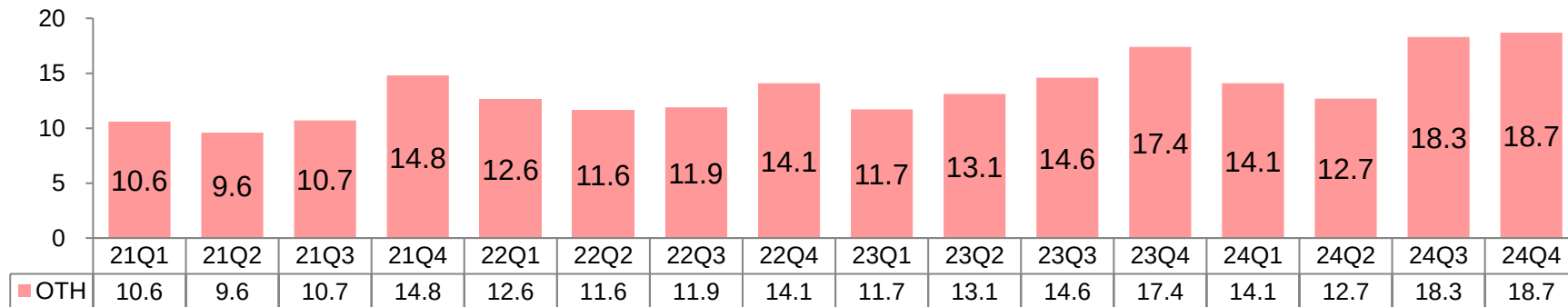
市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

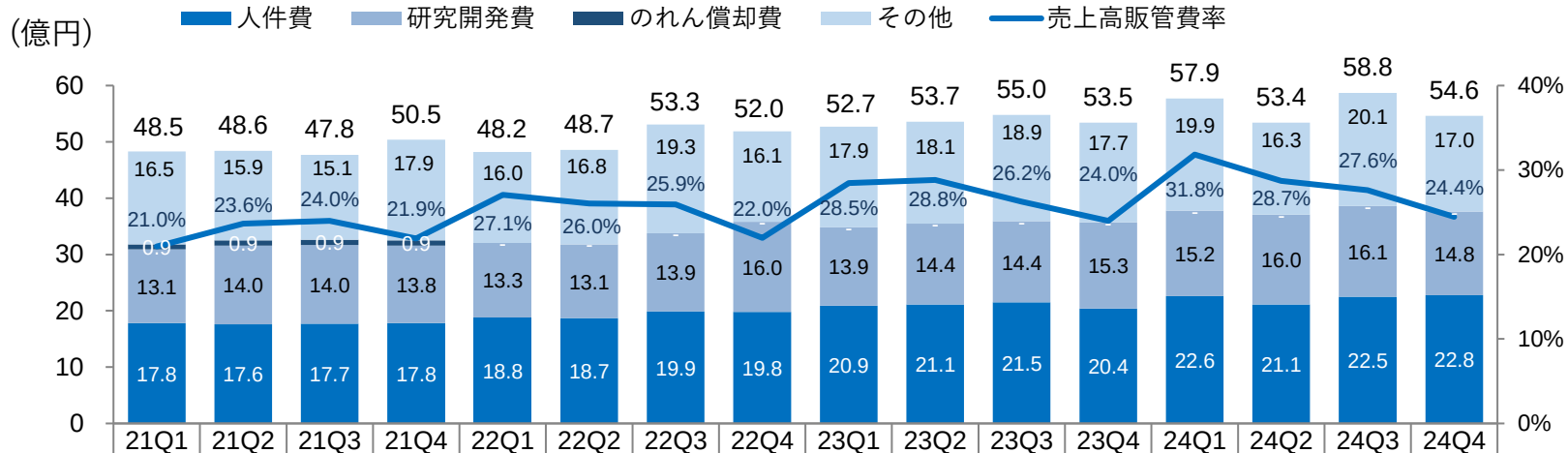
アミューズメント



その他



販売費及び一般管理費推移



	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4	22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	23Q1	23Q2	23Q3	23Q4	24Q1	24Q2	24Q3	24Q4
計	48.5	48.6	47.8	50.5	48.2	48.7	53.3	52.0	52.7	53.7	55.0	53.5	57.9	53.4	58.8	54.6
その他	16.5	15.9	15.1	17.9	16.0	16.8	19.3	16.1	17.9	18.1	18.9	17.7	19.9	16.3	20.1	17.0
のれん償却費	0.9	0.9	0.9	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
研究開発費	13.1	14.0	14.0	13.8	13.3	13.1	13.9	16.0	13.9	14.4	14.4	15.3	15.2	16.0	16.1	14.8
人件費	17.8	17.6	17.7	17.8	18.8	18.7	19.9	19.8	20.9	21.1	21.5	20.4	22.6	21.1	22.5	22.8
売上高販管費率	21.0%	23.6%	24.0%	21.9%	27.1%	26.0%	25.9%	22.0%	28.5%	28.8%	26.2%	24.0%	31.8%	28.7%	27.6%	24.4%



Visit us online
www.eizo.co.jp